



ガスファンヒーター 取扱説明書

43-923 型

保証書付

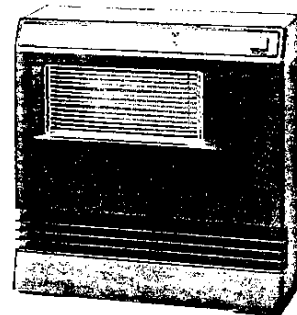
型式の呼び HF-320'

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

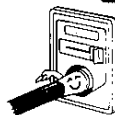
本社 ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557 大阪市西区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (552) 0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590 堺市住吉通町2丁目2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里39番6号	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒682 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(28) 3101
東部支社	〒578 東大阪市稲森2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 8231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸通御池角	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-1-1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町築津29の1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 0798(213) 2221
湖商支社	〒525 和津市湯分町字荒堀680の1	☎和津 0775(62) 5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12-1-1	☎彦根 0749(22) 3131
〈販売営業所〉	〒625 長浜市南宮原町3番4号	☎長浜 0749(62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

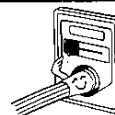
大阪ガス株式会社



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を



換気必要

30分に1回
1分間程度



ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーター
をお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

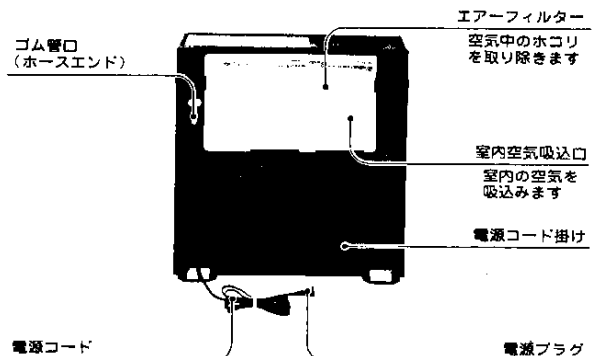
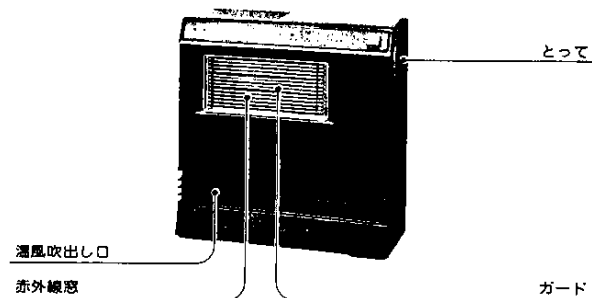
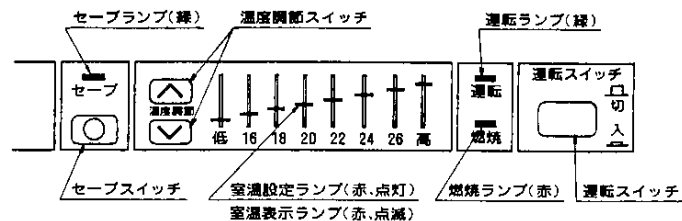
- 各部の名称 1
- 特に注意していただきたいこと 2
- 器具の設置 7
- 使用手順 8
- 使用時のご注意 12
(安全装置が作動したときの処置方法)
- 日常の点検・手入れ 14
- 故障・異常の見分け方と処置方法 16
- 長期間使用しない場合 17
- アフターサービスのお申し込み 18
- 特長 19
- 寸法図と仕様一覧表 20

換気にご注意

この器具は、強制給排気式（FF式）では
ありませんので換気が必要です。

各部の名称

(操作部)



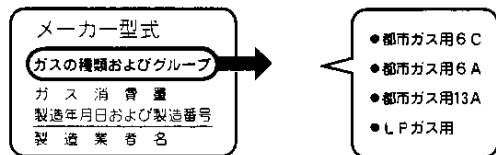
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

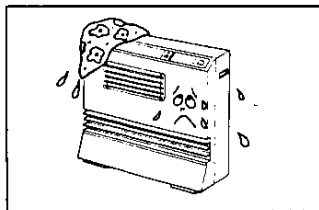
(銘板)



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転居されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。転居される場合には、部品の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

用途についてのご注意

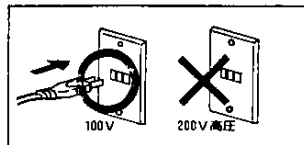
- 暖房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しないでください。
衣類などを器具の上に置いたりしますと、温風の出口や吸込口がふさがれてしまい、器具内に熱がこもり大変危険です。



特に注意していただきたいこと②

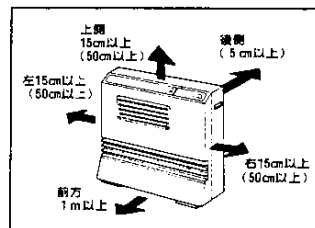
使用電源についてのご注意

- 器具本体(銘板)に表示してある電源(電圧、周波数)以外では使用しないでください。
- この器具は交流100V用です。お宅の電源の電圧が一致しているかお確かめください。
- この器具は50・60ヘルツ(Hz)共通で使用することができます。

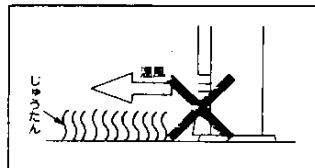


使用場所についてのご注意

- 理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などスプレーや化学薬品を使用する場所および綿ほこりの多い場所では使用しないでください。器具の故障や腐食性ガスの発生により、鏡、ガラスなどを傷める原因になります。
- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。後の壁から5cm、横の壁または上側のいずれか一方は、50cmあとは15cm、前方1m以内に家具・建具などの障害物のない位置を選んでください。



- 器具の使用場所は、お部屋の元せんの近くをお選びください。
ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりするおそれがありますので、できるだけ、元せんの近くで使用してください。(3m以内)
- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で消えることがあります。換気するときにも、強い風があたらぬようにご注意ください。
- 毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板等を敷いてください。
温風がじゅうたんにあたり、変色するおそれがあります。

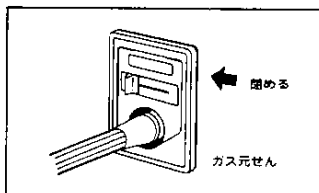
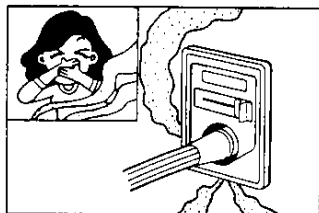


特に注意していただきたいこと ③

使用上のご注意

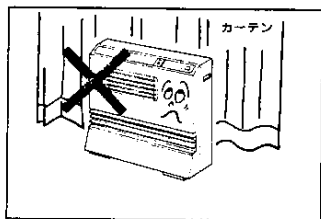
ガス漏れ予防

- ゴム管はガス用ゴム管（検査合格又はJISマークの入っているもの）を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い、使用3年位を目安にとりかえてください。古くなりますと、抜けやすくなったりヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。
- 使用後は必ず運転スイッチを切り、消火したことを確かめてください。
- お出かけやおやすみの際には、ガス元せんも必ず閉じてください。



火災予防

- 器具の上やそばに、燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）をおいたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出し口や吸込口に入れないでください。火災のおそれがあります。

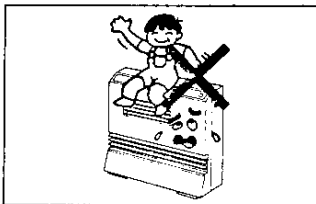
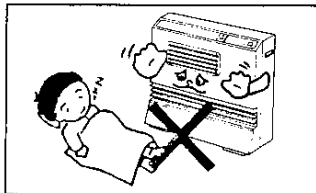
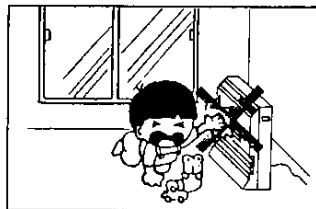


- ヘアースプレーなど引火物を、器具の近くで使用しないでください。引火するおそれがあります。
- 火をつけたまま器具を移動させないでください。ゴム管が折れ曲がったり、抜けたりして危険です。
- 外出・就寝時には、必ず消火してください。

特に注意していただきたいこと ④

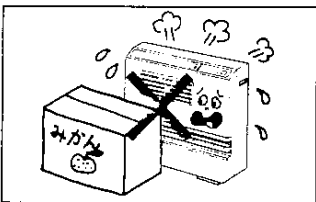
やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、温風吹出し口やガードとその周辺、およびエアフィルター部は熱くなりやけどの恐れがありますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。
- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。
〔低い温度でも長時間温風にあたりますとやけどの危険があります。〕
- 器具の上に腰かけたり乗ったりしないでください。やけどや器具の変形の原因になります。



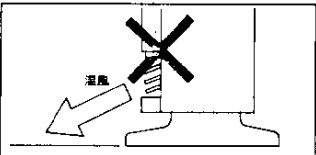
過熱防止

- 温風吹出し口の前に物を置いたり、器具の後面（エアフィルター）をふさいだりしないでください。異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があったまらぬこともあります。



温風吹出し口のご注意

- 温風吹出し口のルーバーの角度を故意に変えないでください。床（カーペット等）が変色したり器具の故障の原因となります。掃除の時は特にご注意ください。



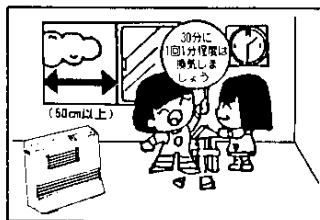
特に注意していただきたいこと ⑤

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

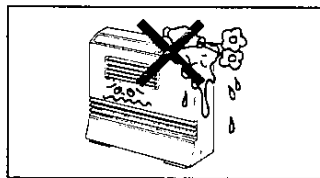
換気のご注意

- 使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気をおこなってください。この器具は強制給排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。



水ぬれのご注意

- 器具に水は禁物です。花瓶などをせたり、水のかかる所で使用しないでください。器具に水がかかるとガラスが割れたり腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。



異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまま使いにならず、直ちにご使用をやめ(運転スイッチを切り、ガス元せんを閉じる)十分な点検をお願いします。また赤外線窓からの赤熱がふだんと違って暗くなったり、明るくなった時はそのまま使いにならず直ちにご使用をやめてください。
(故障・異常の見分け方と処置方法については18ページをお読みください。)

日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは必ず行ってください。
(詳しくは14ページをお読みください。)
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

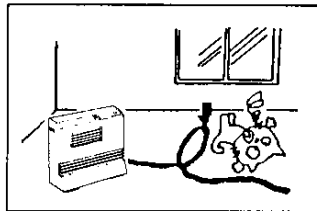
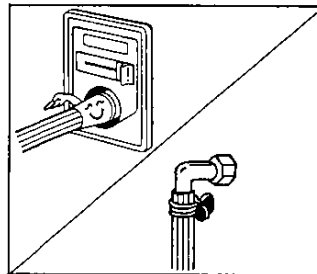
器具の設置

使用場所についてのご注意

- ご使用になる場合は、3ページの使用場所についてのご注意をお読みください。

ゴム管の接続

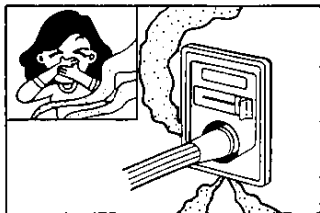
- 「カチット」方式の接続は確実に押しこんでください。
- ゴム管は9.5mmφ（内径9.5mm）のゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドとも赤線まで十分に差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。
- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくし(3m以内)、また器具の下を通したり器具に触れたりしないようにして使用してください。



- ゴム管の器具接続や、元せん接続に、「カチット」を接続すれば、接続が簡単で便利になるだけでなく、不十分なゴム管接続によるガス漏れを防ぐことができます。
- ガスコード(強化型小口径ガスホース)は13A器具のみ使用可能です。

器具の設置②

- ゴム管は良質のものを用い、使用3年位を目安にとりかえてください。ゴム管が古くなりますと、ガス元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガス漏れの原因になり危険です。



使用手順

はじめてお使いのとき


- はじめてお使いのときや、しばらくお使いにならなかったあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、点火するまでに時間がかかることがあります。点火するまでしばらくお待ちください。60秒程たっても点火しない場合は、スパークが止まり、「燃焼ランプ」(赤色)と「室温表示ランプ」(赤色)が点滅します。再度点火操作をしてください。

点火前の準備と確認

- 電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。

〈ご注意〉

交流100V用コンセントであることを確認してください。200V等の場合、器具がこわれてしまいます。

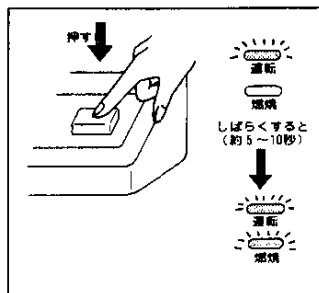
- 運転スイッチの  を確認し、ガス元せんを全開にしてください。



〈ご注意〉

ガス元せんが全開になっていないと点火しにくかったり、正常な燃焼ができなくなり、安全装置で消火してしまうことがあります。

使用手順②

点火



- 点火
① 運転スイッチを  の位置まで確実に押してください。この時「運転」ランプ(緑色)が点灯します。
② 運転スイッチ  後5~10秒程して「燃焼」ランプ(赤色)が点灯するのを確認してください。(赤外線窓からの赤熱は、燃焼ランプ点灯より遅れますが異常ではありません。)
③ 点火時、瞬時的にエアフィルター部の温度が上昇しますが異常ではありません。

● 暖房運転の開始

点火後、2分程して、ルームサーモ(室温調節器)の働きによって、運転状態が自動的に切り替わります。(以後は自動的に行なわれ、手をふれる必要はありません)

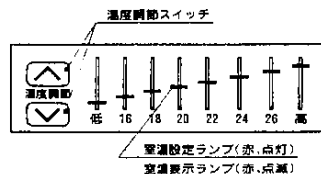
〈ご注意〉


点火したあとやルームサーモ(室温調節器)が作動したあとおよび消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨張・収縮する際の音で異常ではありません。

● 消火後の再点火

消火後再び運転される場合は、対流ファンが回っていないことを確認してから点火操作を行なってください。消火後、約60秒間は点火操作をしてもすぐには点火しません。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。故障したり、破損の原因になります。

温度調節



- 温度調節スイッチ「 (あげる)」、(さげる)」を押し、お好みの室温に設定してください。スイッチを一度押しごとに、設定室温が2℃づつ変わります。またスイッチを押し続けると、連続的に設定室温が変わります。ルームサーモ(室温調節器)の働きにより、「強燃焼」、「弱燃焼」の切り替えで自動的に室温をほぼ一定に保ちます。

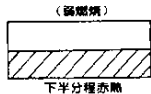
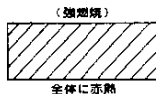
使用手順③

- 室温は、室温表示ランプ(赤色)が点滅してお知らせします。
- 一度セットした設定室温は、マイコンが記憶しています。ただし電源プラグをコンセントから抜いたり、停電した時は設定室温は解除され、再通電後は自動的に「22」となります。

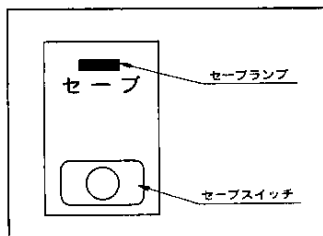
〈ご注意〉

- 設定温度と室温が一致した場合、ランプ(赤色)は連続点灯します。
- 設定温度は、室温と必ずしも一致するとは限りませんので、あくまでもめやすと考えてください。
- 家屋の構造、外気温度、使用位置によっては、お好みの温度にならない場合があります。また「弱燃焼」になってもお部屋の温度が上がっていくことがありますので、このときはいったん運転を停止してください。
- 消火後の再点火時に室温ランプが一時的に高く表示されたのち、もとに戻る場合がありますが、故障ではありません。
- 赤外線窓の状態

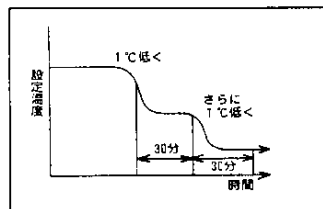
「強燃焼」時は………「運転ランプ点灯」「燃焼ランプ点灯」「対流ファン強回転」「赤外線窓は全体に赤熱」
 「弱燃焼」時は………「運転ランプ点灯」「燃焼ランプ点灯」「対流ファン弱回転」「赤外線窓は下半分程赤熱」



セーブ運転



- セーブスイッチを押してください。
 - ①セーブランプ(緑)が点灯します。
 - ②お部屋の温度が設定温度になるとセーブ運転システムが作動し、30分後に自動的に1℃温度を下げます。
 - ③さらに30分たつと設定温度をさらに1℃低くします。サーモ設定温度を2℃低目にコントロールして維持費の低下をはかります。



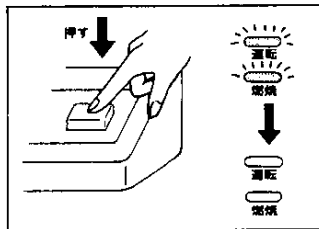
- セーブスイッチを押されても、室温設定ランプの位置は最初に設定された位置のままです。

〈ご注意〉

温度調節と同様に家屋の構造、外気温度等によっては、実際に温度が下がらない場合があります。

使用手順④

消火



- ①運転スイッチを押して まで確実にもどったことを確認してください。
 - ②燃焼ランプ、運転ランプは消灯しますが、対流ファンは約4分間程回り続けて、自動的に止まります。
- ご使用後は、ガス元せんも閉じてください。

〈ご注意〉

- ①消火後、対流ファン(温風)が止まるまで電源プラグは抜かないでください。器具内部の熱を出して過熱をふせぐために必要です。使用中、電源プラグを抜いて消火することはしないでください。
- ②再点火時に室温が一時的に高く表示される場合がありますが異常ではありません。

停電時の処置

- 停電時の処置
停電になったときは、運転スイッチを にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。
- 停電後の再点火
ガスの元せんを全開にし、通常の点火操作(9ページ)を行なってください。停電後すぐに運転スイッチを にしても約60秒たたないと点火動作に入らない場合があります。

〈ご注意〉

使用中停電になったとき対流ファンが止まるため、器体上部が過熱します。器体上部にふれないでください。

- 停電後運転スイッチが の状態で再通電したときは、燃焼ランプ(赤色)と室温表示ランプ(赤色)が点滅し、停電のあったことを表示します。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

●過熱による消火時の処置

エアフィルターが目づまりしたり、漏風吹出口に障害物があつたりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火してしまいます。「燃烧ランプ」(赤色)が点滅表示します。

エアフィルター部の掃除や、障害物を取り除いた後、しばらく(5～6分)してから再点火してください。

(電源プラグは対流ファンが回っているあいだは抜かないでください。)

●電流ヒューズの作動

ご使用中ならんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、使用できなくなります。点火操作をしても「運転」ランプがつかなくなり再点火できません。修理点検が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。


●過熱防止用温度ヒューズの作動

万一異常過熱したときに、温度ヒューズが切れて消火し、燃烧ランプが点滅表示します。

(二重の安全装置)


この場合は、器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

●停電安全装置の作動

停電時は使用できません。安全装置が作動し、運転を停止します。停電中は必ず運転スイッチを  にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。

11ページの「停電時の処置」をお読みください。

●転倒時ガス遮断装置

器具が転倒した場合、激しい衝撃が加わった時などに作動して消火します。「燃烧ランプ」(赤色)と「室温表示ランプ」(赤色)が点滅表示します。)この場合は、いったん運転スイッチを  にもどし再点火してください。

使用時のご注意 ②

安全装置が作動したときの処置方法②

●消火センサー(安全装置)の作動

使用中にバーナーが消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。「燃烧ランプ」(赤色)と「室温表示ランプ」(赤色)が点滅表示します。)ゴム管を踏んだり、ガス元せんが開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。点検後、再点火してください。

●不完全燃焼防止装置の作動

ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめぎった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアフィルターが詰まっても同様です。「燃烧ランプ」(赤色)と「室温表示ランプ」(赤色)が点滅表示します。)このような場合に、不完全燃焼をする前に燃焼を停止する安全装置です。不具合を点検してから再点火してください。

●ファンコントローラ(送風制御装置)

電気回路中に組み込まれている送風制御装置で、燃焼停止時、消火後に器具の過熱を防止します。対流用ファンは消化後約4分間程止まりません。回っている間は電源プラグは抜かないようにしてください。消化後すぐに電源プラグを抜いたり、電源プラグを抜いて消火しますと、器具が過熱して故障の原因になります。また、器体上部が過熱してやけどの危険があります。

(ご注意)

安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションに依頼してください。

点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。また電源プラグを抜いてから行なってください。

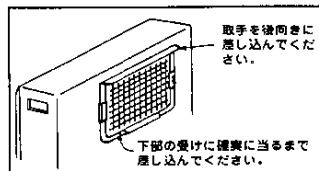
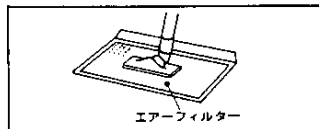
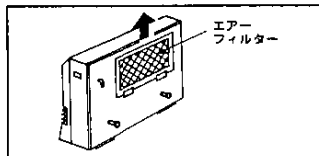
点 検

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込んであるか点検してください。
- ゴム管が古くなったり、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。

お手入れ

■フィルターのお手入れ

- エアフィルターは週一度以上必ず掃除してください。エアフィルターは図のように上方に引き出し、電気掃除機などでよく掃除してください。よごれがひどいときは、ぬるま湯で洗ってよく乾かしてからご使用ください。
- エアフィルターにゴミやホコリがたまると室内循環用の風量が減って暖房効果が悪くなるばかりでなく、異常過熱や、安全装置の作動の原因になります。
- エアフィルターは下部のフィルター受けに確実に当たるまできっちりと差し込んでください。
- エアフィルターは取手を後ろ向きに差し込んでください。スキマがあるとホコリが入り、故障の原因になります。



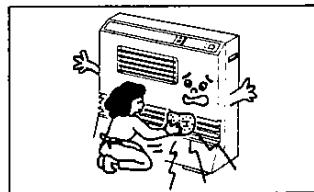
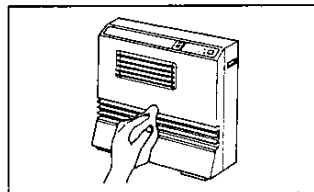
日常の点検・手入れ②

器具外装のお手入れ

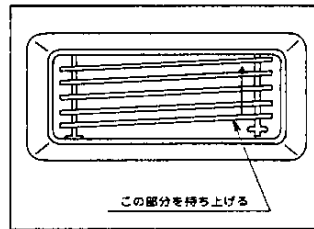
- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。汚れがひどいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れをおとしてください。このときは、洗剤をよくふきとってください。

〈ご注意〉

- 金属たわし、みがき砂などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。キズがついたり色があせたりします。
- 温風吹き出し口に白い粉が付着することがありますが、異常ではありません。やわらかい布でふき取ってください。
- 温風吹き出し口を強くふきますと、吹き出し口のルーバーが曲り、温風によって床（カーペット等）が変色することがありますのでご注意ください。



- ガードの外し方
図のようにガードの右側を少し持ち上げてガードの下部を外し、そのまま手前下に引くと右側が外れます。左方向へ回転させて、ガードやガラス面のお手入れをしてください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象	原因	運転ランプが点滅している(低)	スパークプラグが劣化している(低)	点火(燃焼)ランプが点滅している(低)	ガス(燃焼)ランプが点滅している(低)	使用中(燃焼)ランプが点滅している(低)	異常(燃焼)ランプが点滅している(低)	異常(燃焼)ランプが点滅している(低)	異常(燃焼)ランプが点滅している(低)	異常(燃焼)ランプが点滅している(低)	処置方法	参照ページ
電源プラグが差し込んでいない		○	○	○							電源プラグを確実に差し込む	8
ガス元せんの開き忘れ・開き不十分				○	○	○				低 (又は16)	ガス元せんを全開にする	8
ゴム管内に空気が残っている					○					低 (又は16)	点火操作をくり返してください	9
ゴム管の接続が不完全			○	○						低	確実に接続する	7 8
ガスの種類が違う				○	○	○	○	○		低 16, 20	本体右側面の銘板を確認してください	2
ゴム管が長すぎる、ゴム管の折れ曲がり・つぶれ				○	○	○				低 16	不具合を除き再点火してください	3 7
ゴム管のひび割れ・穴あき				○	○					低、16	ゴム管を交換・先を切りつめる	8
換気が不十分である						○				16	30分に1回1分程度換気する	6 13
フィルターがつまっている。吹出し口に障害物がある				○	○	○	○	○		16 20	日常の点検・手入れを実施してください。障害物を除去し点火してください。	13 14
点火(燃焼を開始)したばかりである						○					点火時、少し臭うことがあります	—
スパーク装置の故障(コード外れなど)		○	○							低	点検修理を依頼する	—
安全装置が作動した		○	○	○		○	○	○		低、16、19、20、22、24、26、高	点検修理を依頼する	12 13

- ・故障時、異常時は燃焼ランプ、室温設定ランプが点滅します。
- ・処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。

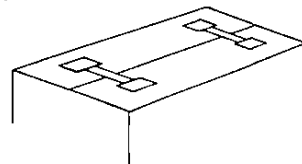
故障・異常の見分け方と処置方法②

次のような場合は故障ではありません

現象	説明
はじめて使うときに、器具から煙や臭いが出る。	はじめてお使いになるとき、器体に付着した油がこげて、煙や臭いが出る場合があります。しばらくすると自然になくなります。
着火したときに「ポツ」という音がする。	着火音で、異常ではありません。
点火・消火直後に「チリ、チリ」と1分間ほど音がする。	バーナが熱により、膨張・収縮するときの音ですから故障ではありません。
使用中に「シャー」と音がする。	これはガスの通過音で、異常ではありません。
運転スイッチを「切」にしても、しばらく温風吹出し口より風が出ている。	器具内の異常過熱を防止するために燃焼停止後、送風機をしばらく運転しています。内部が冷えると自動的に止まります。
はじめて使うとき、または長期間放置後使用する場合、点火時に「におい」がする。	ゴム管の中に空気がたまっている場合、点火時わずかにガスのおいが出ることがありますが故障ではありません。

長期間使用しない場合

- 長期間使用されないときには、運転スイッチを OFF にし、ガス元せんを閉じた後電源プラグを抜いてください。
- 各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分(ホースエンド)などにはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。保管場所は、高温になる所や、直射日光のあたる所はさけてください。
- なを梱包の際は付属のクランパー(バンド)を下記の要領で使用してください。



アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買上げの店またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- ①品 名……(ファンヒーター)
- ②品 番……左側面下部に貼付してあります。
(例)

(N)43-923(U)

大阪ガス株式会社 09

- ③現 象……(できるだけ詳しく)
- ④お名前
- ⑤ご住所
- ⑥電話番号
- ⑦道 順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区別があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買上げの店またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

アフターサービスのお申し込み②

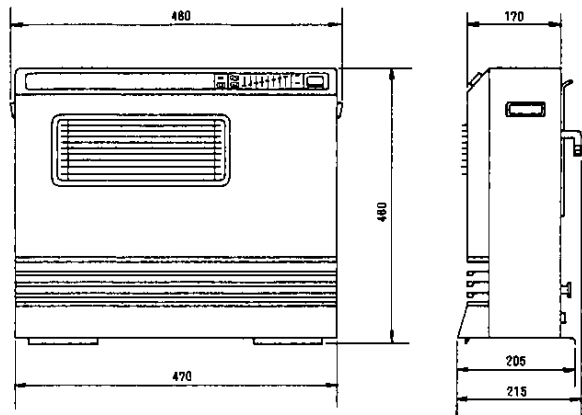
点検整備のおすすめ(有料)

- 長期間、安全快適にご使用頂くために定期的に(3シーズンに1回程度)「点検整備」を受けられることをおすすめします。
- 「点検整備」は、お買上げの販売店または最寄りの大阪ガス支社にご用命ください。(有料)
- 「点検整備」の内容は、下記の通りです。
 - ① 換気部品の点検、確認
 - ② 清掃整備

特 長

- 1 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。また使用場所の移動が可能です。
- 2 暖房の立ち上がりが早く、温風下吹き出しによる暖房効果のよさと、ルームサーモ(室温調節器)を備えたファンヒーターです。
- 3 プッシュスイッチ式のため、操作が簡単です。
- 4 換気不足や、フィルターほこりつまり時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付きです。
- 5 ルームサーモ(室温調節器)により、「強燃焼」「弱燃焼」の2段に燃焼を制御しています。お部屋の温度をこまめにコントロールし、暖めすぎることがなく経済的です。
- 6 スマートでデラックスなイメージのデザインです。
- 7 セーブ運転機能付きですので、維持費の低下がはかれます。

寸法図と仕様一覧表



器 種 名	ファンヒーター	
品 名	43-923型	
種 類	燃 焼 方 式	全一次表面燃焼式
	給 排 気 方 式	開 放 式
	暖 房 方 式	強 制 対 流 式
	点 火 方 式	連 続 放 電 点 火
接 続	ガ ス	9.5mmガス用ゴム管
	電 気	AC100V 60/50Hz
	電 源 コードの長さ	2m
	消 費 電 力	29W
	安 全 装 置	○消火センサー ○不完全燃焼防止装置 ○過熱防止装置(バイメタルスイッチ、温度ヒューズ) ○転倒時ガス遮断装置・停電時安全装置・ファンコントロール
	外 形 寸 法	高さ460mm×幅480mm×奥行170mm(ベース205mm)
	重 量(器具)	11.5kg
都 市 ガ ス 消 費 量	6 C	3,200kcal/h
	13 A	3,200kcal/h
	6 A	3,200kcal/h
	L P ガ ス	0.27kg/h
	暖 房 の 目 安	8~12畳(13~20㎡)

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを隠ゆ、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。